



歯科領域から発信する 新規医療技術の開発

- デジタル技術・骨再生医療を中心に -

近年、歯科領域においてもデジタル技術や新規材料の導入によって、治療方法・方針が大きく変わってきています。今回は、デジタル技術と骨補填材料の応用にスポットをあて、今後のこれら技術・材料の医療への応用の可能性について検討します。

日時

令和4年12月18日(日) 13時~15時

場所

大塚講堂(徳島大学蔵本キャンパス) **入場無料・事前申込不要**

プログラム (敬称略)

開会の挨拶 赤池 雅史 (徳島大学大学院医歯薬学研究部部長)

シンポジウム

1

デジタル技術を応用した次世代の低侵襲白いつめもの治療

保坂 啓一 (徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学域再生歯科治療学分野 教授)

2

コンピューターを活用した患者さんにやさしい被せ物の治療

大倉 一夫 (徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学域顎機能咬合再建学分野 講師)

3

骨補填材であるBioactive Glassの歯科治療への応用

北村 知昭 (九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野 教授)

4

新規人工骨としての炭酸アパタイトの開発、実用化から再生医療へ

宮本 洋二 (徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学域口腔外科学分野 教授)

5

パネリストによる総合討論

閉会の挨拶 馬場 麻人 (徳島大学大学院医歯薬学研究部歯学域長 / 歯学部長)

問い合わせ先

徳島大学蔵本事務部歯学部事務課総務係

※本シンポジウムは、各研究科(医学、医科栄養学、口腔科学)の大学院特別講義を兼ねています

〒770-8503 徳島市蔵本町 3-18-15 Tel:088-633-9100 e-mail:isysoumu2k@tokushima-u.ac.jp